

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表



法人名	社会福祉法人御立会	代表者	網島 武彦	法人・事業所の特徴	事業所としまして、できるだけ利用者様ご家族様の希望に添えるよう、その方の取り巻く環境などに応じ、柔軟にサービスが提供できるよう努めております。法人としまして特別養護老人ホームを運営しており在宅生活が困難になられてた方の受け入れや、医療依存度の高い方の相談もできます。また網島会厚生病院に隣接しており、医療との連携をとり、利用者の方の健康に配慮させていただきます。
事業所名	小規模多機能ホーム 厚生園	管理者	網島 英彦		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	人	1人	人	人	3人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	申送りなど、個々の利用者のニーズや課題の把握に努め、適切なケアの提供に心がける。	職員皆に共通した認識を持ち、個々の希望などに添えるように努める。	今後も目標を意識し運営に取り組んでもらいたい。	改善に取り組む職員の資質の向上に努めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	季節に応じた作品作りに努めている。	プライバシーに配慮しつつ掲示板や、施設たよりなどで発信している。	感染対策に充分きをつけてほしい。	開かれた事業所となるよう雰囲気作りに心がける。
C. 事業所と地域のかかわり	窓口にその時々行事写真などを掲示し、より出入りしやすいように心がけている。	コロナ渦により地域との関わり等はできていない。	コロナであるが縮小でも施設行事ができる範囲で実施できているのは利用者にとっては良い事です。	参加可能な行事など模索していく。また事業所で開催できる事を検討する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナ渦により地域の行事などがなくなっている中で、どのような取組みができるか検討する。	地域での行事などは参加できていないが、密を避け時期をずらし参拝したりしている。	コロナ渦でもあり、感染対策に気を付けてほしい。	感染対策に注意し、どんな方法があるのか、またどんな事が必要なのか検討していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域に開かれた施設や交流ができるよう、意見や指導を仰ぐ。	地域での行事や催しには参加できなかったが、情報収集や地域での動向の把握していきたい。緊急事態宣言での中止があった。	外食を伴う外出は控えるなど対策が必要である。	運営推進会議を通じ、地域での動向など把握できるよう努める。
F. 事業所の防災・災害対策	ハザードマップの確認や緊急連絡網の整備する。	ハザードマップの掲示及び周知緊急連絡網は適宜更新している。避難訓練は実施しているが、地域の方を交えての訓練はできてい	地域の方が避難先として要請があれば可能か。	地域の方の一時的な避難先としての機能もどんなことができるか関東する。

		ない。		
--	--	-----	--	--